

仙台市

仙台市における地域移行 の取り組み

平成18年度より精神障害者退院促進支援事業を開始し、仙台市精神保健福祉総合センターが中心となり、各区保健福祉センターや相談支援事業所等関係機関と連携しながら、個別の退院支援と、体制整備を推進してきた。

平成25年度から、地域移行支援・地域定着支援を推進するために医療・福祉・行政が連携し、課題を共有検討するとして地域移行推進連絡会を毎月開催している。

1 仙台市の基礎情報

仙台市



取組内容

【人材育成の取り組み】

- 地域移行関連研修会
- ピアサポーター養成（雇用促進）

【精神障害者の地域移行の取り組み】

- 仙台市精神障害者地域総合支援事業
- 地域移行推進連絡会

基本情報

圏域数（H28年3月末）	1カ所
人口（H28年3月末）	1,079,876人
精神科病院の数（H28年3月末）	17病院
精神科病床数（H27年6月末）	2630床
入院精神障害者数 （H27年6月末）	3か月未満：479人（22%）
	3か月以上1年未満：450人（20%）
	1年以上：1,282人（58%）
退院率（H26年6月末）	入院後3か月時点：51%
	入院後1年時点：87%
相談支援事業所数（H28年4月末）	一般相談事業所数：30
	特定相談事業所数：53
障害福祉サービスの利用状況 （H27年7月）	地域移行支援サービス：44人
	地域定着支援サービス：38人
保健所（H28年3月末）	1カ所（支所5カ所）
（自立支援）協議会（H28年3月末）	（人材育成について議論）：評価研修部会 （活動頻度）：3回／年
	（精神障害者の地域移行について議論）：地域移行推進連絡会議 （活動頻度）：12回／年
精神保健福祉審議会（H28年3月末）	1回／年、委員数20人

2 精神障害者の地域移行推進のための取組概要

(1) 個別支援

ア 地域移行支援（障害者総合支援法）

イ 仙台市精神保健福祉総合センター（以下、はあとぽーと仙台）による個別の退院支援・機関支援

個別給付化以前から、はあとぽーと仙台が個別の退院支援を行ってきた経過があり、個別給付化後も継続して個別支援を実施している。

平成26年度からは、関係機関に対して、はあとぽーと仙台で行う技術援助を「仙台市精神障害者地域総合支援事業（アウトリーチ協働支援事業）」として要綱を制定し、地域移行支援も技術援助の一環として位置付けた。

具体的には、病院や相談支援事業所、保健所と協働して、地域移行支援を利用する前段階の患者に対して面接や外出同行、ケア会議を行い、退院へのモチベーションが高まるよう働きかけるなどしている。

2 精神障害者の地域移行推進のための取組概要

(2) 地域移行に関する体制整備

ア 地域移行推進連絡会（委託相談支援事業所とはあとぽーと仙台による協働実施）

ネットワークの構築と地域移行支援の現状把握、課題の整理、課題解決の検討を行う目的で毎月実施。医療・福祉・当事者・行政など多機関が参加。

イ 普及啓発活動（委託相談支援事業所とはあとぽーと仙台による協働実施）

リーフレットの作成及び配布、病棟内啓発活動、病院スタッフ向け研修、日本精神科看護協会宮城県支部との共催研修、（公社）宮城県宅地建物取引業協会（以下、県宅建協会）との共催研修。

ウ ピアサポーターの養成

平成27年度より、NPO法人仙台市精神保健福祉団体連絡協議会にピアサポーター養成（雇用促進事業）の実施を委託。

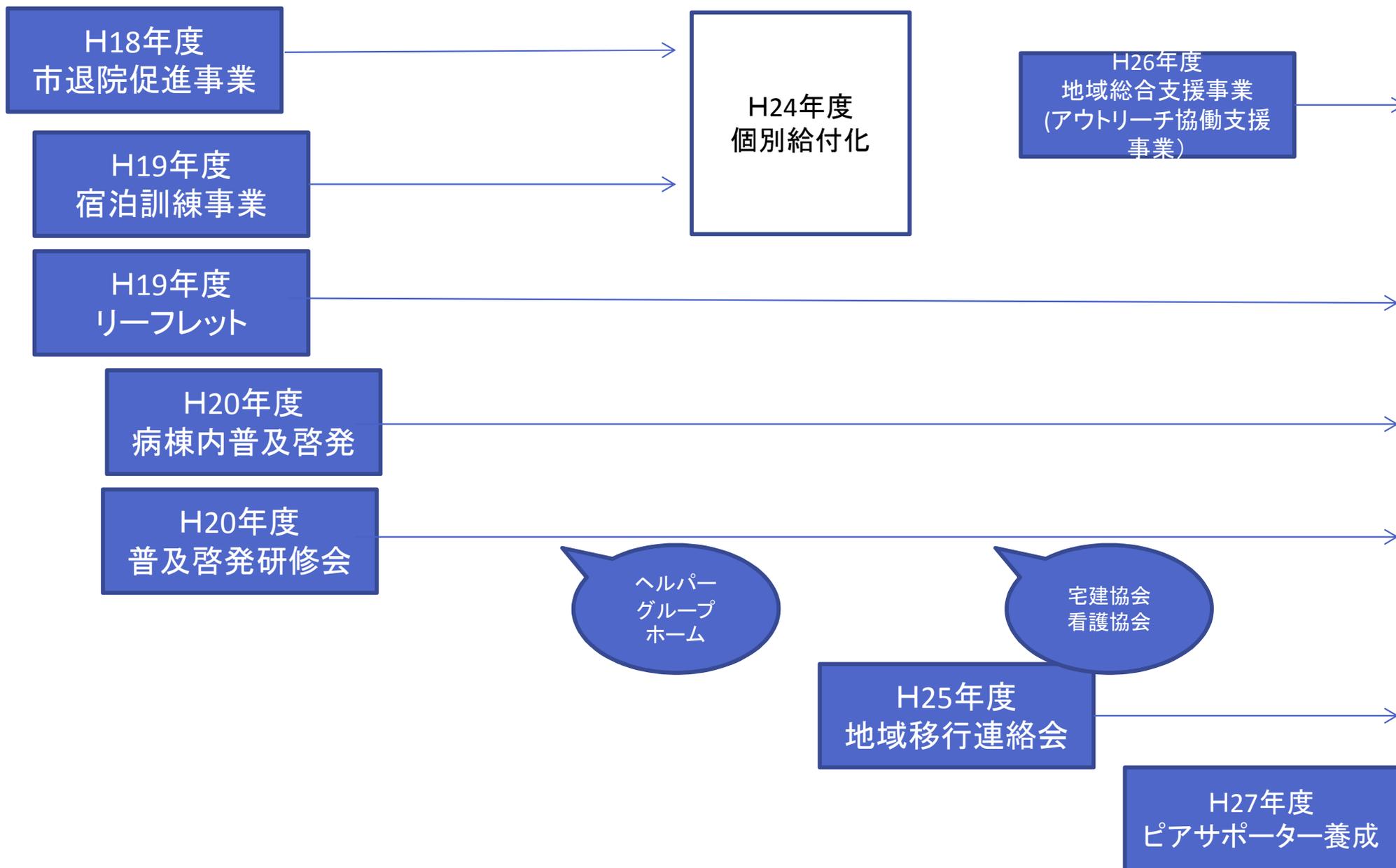
エ ピアサポーターの活用

平成28年3月より本庁部局にてピアスタッフ2名雇用。はあとぽーと仙台との協働による個別支援や、普及啓発研修の企画実施への参画を予定している。

3 精神障害者の地域移行推進のための取組経緯

年度	内容
平成18年度	仙台市精神障害者退院促進事業開始 障害者施策推進協議会へ「精神科病院に長期入院している方への支援における課題報告書」を提出
平成19年度	宿泊訓練事業開始 当事者向け、病院向けリーフレットの作成
平成20年度	病棟内普及啓発開始 市内関係機関対象の退院促進支援研修会開始
平成22年度	リーフレット改訂
平成24年度	地域移行支援(退院支援)の調査
平成25年度	精神障害者のための地域移行推進連絡会開始
平成26年度	仙台市精神保健福祉総合センター地域総合支援事業(アウトリーチ協働支援事業)要綱制定 日本精神科看護協会宮城県支部との共催研修開始 県宅建協会会員対象アンケートの実施
平成27年度	リーフレット改訂 県宅建協会会員対象普及啓発研修開始 ピアサポーター養成講座

3 精神障害者の地域移行推進のための取組経緯



4 精神障害者の地域移行推進における強みと課題

特徴(強み)

1. 「地域移行推進連絡会」相談支援事業所とはあとぽーとと仙台の協働実施。医療、福祉、当事者、行政など幅広い関係者の参加がある。
2. はあとぽーとと仙台が他機関と連携しながら個別支援と普及啓発活動を含めた体制整備を推進してきた
3. 県宅建協会との連携が構築されつつある。

課題

1. 病院との連携強化
病院の多職種チームと地域の連携、支援方針の共有/当事者への制度周知の充実
2. 地域の支援体制強化
制度の積極的導入/委託相談支援事業所、指定一般相談支援事業所との課題共有/
ピアサポーターの活用
3. 社会資源開発
住居確保のため環境整備について宅建協会と連携/
公的な福祉サービスでは足りない支援/地域住民の理解

5 精神障害者の地域移行推進のための本年度のスケジュール

今年度の目標

1. 病院との連携強化→病院、医療関係者に対する普及啓発活動の実施
2. 地域の支援体制強化→地域移行推進連絡会の継続開催、ピアサポーターの活用
3. 社会資源開発→県宅建協会との連携強化

次期(月)	実施内容	担当
～6月 7月～	市内医療機関にリーフレット配布、事業説明 病棟内普及啓発活動	相談支援事業所、はあとぽーと仙台 相談支援事業所、はあとぽーと仙台、 ピアスタッフ
9月 12月 時期未定	県宅建協会共催研修 精神看護協会共催研修 ピアサポーター養成研修	相談支援事業所、はあとぽーと仙台 相談支援事業所、はあとぽーと仙台 NPO法人仙台市精神保健福祉団体 連絡協議会
毎月 随時	地域移行推進連絡会の開催 個別支援	相談支援事業所、はあとぽーと仙台 相談支援事業所、はあとぽーと仙台、 ピアスタッフ